

Oleh Krysa *Violin Recital*

オレグ・クリサ ヴァイオリンリサイタル

ピアノ: タチアーナ・チェキーナ

2007年 8月31日 (金) 7:00pm
横浜みなとみらいホール小ホール 全自由席 ¥3,000

■ PROGRAM ■

シューマン: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ.イ短調, Op.105

Schumann: Sonata for Violin and Piano in A minor, Op.105

ブラームス: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第3番.ニ長調, Op.108

Brahms: Sonata for Violin and Piano No.3 in D minor, Op.108

ショスタコーヴィチ: 24の前奏曲 Op.34 より Dmitry Tzyganov の編曲による

ヴァイオリンとピアノのための6つの前奏曲

Shostakovich: Six Preludes, Op.34 arrangement for Violin and Piano by Dmitry TZYGANOV

ラヴェル: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ト長調

Ravel: Sonata for Violin and Piano in G major



オレグ・クリサ Oleh Krysa (Violin)

ダヴィッド・オイストラフの愛弟子。旧ソビエト連邦共和国では特別なソリスト、室内楽奏者として、又、指導者として尊重されていた。1971年のカーネギーホールでのアメリカデビューでは大きな成功を収め、評論家は絶賛し、その勝利は不動のものとなった。ウィエニアフスキ国際コンクール第2位、パガニーニ国際コンクール優勝、チャイコフスキー国際コンクール第3位他、数多くの国際コンクールで入賞。現代作曲家のシュニトケはクリサのために、数多くの作品を書いている。又、優秀な指導者として、キエフ音楽院、モスクワ音楽院などで後進の指導にあたり、現在もニューヨークのイーストマン音楽学校の教授。

世界各地で演奏活動を行い、「モスクワの星」「ブラハの春」「ワルシャワの秋」「ウィーン・フェスティバル」「国際パッサ・アカデミー」「アスペン音楽祭」他、世界各国の音楽祭に登場している。パガニーニ国際コンクールなどの審査員、オイストラフ国際コンクールの審査委員長も務める。日本には「イーストマン音楽学校夏季セミナーin 浜松」、石川夏期セミナー、長野国際音楽祭等の講師としてたびたび来日している。

タチアーナ・チェキーナ Tatiana Tchekina (Pianoforte)

モスクワの音楽家の家庭に生まれ、キエフとモスクワの音楽院で Vsevolod Topilin と Boris Zemlianskyn に師事。1967年以降ソロ活動に加え、室内楽では夫のオレグ・クリサ(ヴァイオリン)と共にカーネギーホールやケネディセンターをはじめ、世界中で演奏会を行い国際的評価を得ている。モスクワの星、ブラハの春、ワルシャワの秋、オーストリアの Wiener Fest など各国の有名な音楽祭への出演も多数。

主催: 大阪国際音楽振興会

マネジメント: 川崎音楽事務所 Tel: 044-944-3393 Fax: 044-944-3307

E-mail: k.music@oregano.ocn.ne.jp <http://www1.ocn.ne.jp/~k.music/kawasaki.html>